



マイクロカテーテル挿入可能埋め込み型ポートの開発

田中 利洋

Toshihiro Tanaka

放射線診断・IVR学/教授

■キーワード IVR カテーテル、埋め込み型ポート

シーズ概要

悪性腫瘍に対する皮下埋め込み型ポート（動注用カテーテル・ポートシステム：動注リザーバー）を用いた動注化学療法は本邦で普及した治療法であるが、そのシステムにマイクロカテーテルが挿入可能となれば、繰り返し選択的な動注または血管塞栓術を行うことができる。

本デバイスを使用すれば、選択的カテーテル治療が外来通院で施行可能となり、治療範囲が限局できるため副作用も軽減される。



研究成果の応用可能性

新規IVR治療として普及する可能性がある。

2021年9月薬事承認、2022年4月製品販売開始

Appeal Point

アピールポイント

癌患者に対する低侵襲な局所治療が可能となる新規デバイスです。

関連文献/特許

1. Fukuoka Y, Tanaka T, et al. Safety and Prognosis of Transarterial Chemoembolization for Octogenarians with Hepatocellular Carcinoma. Cardiovasc Intervent Radiol. 2019 Oct;42(10):1413-1419.
1. 特許第6818269号
出願国：日本
発明者：田中利洋 他
『体内埋込型カテーテルポート、および、体内埋込型カテーテルポートの製造方法』
特許登録日：令和3年1月5日